

【 質問票・回答票 】

調 査 票

平成20年度
大学等におけるボランティア活動の推進と環境に関する調査

実施機関名:独立行政法人 日本学生支援機構

調査期間:平成20年9月～10月

質 問 票

ご回答は、当機構ホームページの回答用フォームより送信してください。
(回答方法の詳細は、通知文書別紙をご覧ください。)

この用紙は、入力前の下書き用としてご利用ください。
※ 見やすくするために、入力画面と表示レイアウトが異なりますが、ご了承願います。

※ 「大学・短期大学・高等専門学校」は、「大学等」と省略して表記しています。

1. ボランティア活動の推進と環境

Q1 貴学には、ボランティア・NPOに関する学外からの照会・協力依頼等に対応する担当部署がありますか。

- 1. ある
- 2. ない

『1. ある』の場合、回答に従ってSQにもお答えください。

- a 専任スタッフを有する専門の部署がある
- b ボランティア・NPOを担当する部署があり、部署の中に業務専任の担当者がある
(例：学生課、厚生課などの専任担当)
- SQ1 c ボランティア・NPOを担当する部署はあるが、部署および担当者は他の業務と兼務している
(例：学生課、厚生課などの職員が学生厚生補導業務のひとつとして担当)
- d その他

この回答に対応する部署の連絡先をお教えてください

Q2 貴学には、学内において、学生に対するボランティア・NPO情報の提供・相談等を担当する部署がありますか。

- 1. ある
- 2. ない

『1. ある』の場合、回答に従ってSQにもお答えください。

- a 専任スタッフを有する専門の部署がある
- b ボランティア・NPOを担当する部署があり、部署の中に業務専任の担当者がある
(例：学生課、厚生課などの専任担当)
- SQ1 c ボランティア・NPOを担当する部署はあるが、部署および担当者は他の業務と兼務している
(例：学生課、厚生課などの職員が学生厚生補導業務のひとつとして担当)
- d その他

この回答に対応する部署の連絡先をお教えてください

ボランティア・NPOに関する部署を担当する教員はいますか。

- SQ2 a いる
- b いない

ボランティア・NPOに関する部署を担当するコーディネーターなどの専門職はいますか。

- SQ3 a いる
- b いない

SQ3で「いる」と回答の場合、その職員はどのような方ですか(複数回答可)。

- SQ4 a 正規職員
- b 嘱託・契約職員
- c 派遣職員
- d アルバイト
- e その他

ボランティア・NPOに関する部署の担当を兼務する事務職員はいますか。(SQ3の専門職を除く。)

- SQ5 a いる
- b いない

ボランティア・NPOに関する部署の活動に協力する学生ボランティアはいますか。

- SQ6 a いる (人)
- b いない

学内の組織・機構における、ボランティア・NPOに関する部署の設置体制(位置づけ)をお答えください。

- SQ7
- a 学長・副学長直結
 - b 学生部・学生課系
 - c 教務部・教学課系
 - d 総務部系
 - e 就職部・キャリア支援系
 - f 地域連携担当部局
 - g 特定の学部・学科系
 - h 教育・研究機関
 - i その他

ボランティア・NPOに関する部署の場所についてお答えください。

- SQ8
- a 専用の部屋・スペースに設置されている
 - b 他の部署と共用の部屋・スペースに設置されている
 - c その他

ボランティア・NPOに関する部署の業務はどのようなものですか(複数回答可)。

- SQ9
- a ボランティア講座・セミナー等の企画・運営
 - b ボランティア活動の企画・実施
 - c ボランティア・NPO情報の収集・提供
 - d ボランティア希望者と受け入れ先との需給調整
 - e 授業に関連したボランティア体験学習等の連絡調整
 - f ボランティア・NPOとの交流・情報交換
 - g ボランティア関係の調査・研究
 - h 大学等の地域社会への貢献
 - i 障害学生への対応
 - j ボランティア活動を希望する学生への相談対応
 - k イベントの企画・実施、後援・共催などの支援
 - l ニュースレターなど情報誌の発行
 - m ボランティア活動中の事故や保険の対応
 - n 小・中・高校生のボランティア体験の受入
 - o 学生への学内資源の提供(機材提供(デジタルカメラ・ビデオカメラ)、印刷スペースの提供など)
 - p 学生ボランティアサークルへの助成金支援
 - q 委員会・協議会への委員派遣
 - r その他

貴学では収集したボランティア・NPO情報をどういった方法で学内に提供していますか(複数回答可)。

- SQ10
- a 学内の掲示板への掲示
 - b ボランティア・NPO専用の掲示板への掲示
 - c 大学等発行の新聞や機関誌(紙)
 - d ボランティア・NPO担当部署の発行する機関誌(紙)
 - e 学内向けホームページに掲載
 - f ボランティア活動を希望する学生へのEメール
 - g 学内サークルへ直接
 - h 関連する授業を通じて
 - i その他

学生のボランティア活動支援において力を入れている活動分野を3つお答えください。

- SQ11
- a 子供たちにスポーツ、レクリエーションなどの指導をする
(子供の遊びの相手、スポーツやレクリエーションなどの指導、野外キャンプの指導など)
 - b お年寄りや障害のある人などを助ける
(介護、手話通訳や点訳・朗読サービス、通院の付添いや外出の手伝い、ノートテイクや移動介助など)
 - c 地域の歴史を掘り起こし、伝統文化やお祭りなどを守り育てる
(地域の伝統工芸・伝統芸能・遊びの教え合い、地域のイベントやお祭りの手伝い、遺跡発掘の手伝いなど)
 - d 病気の人の手助けをしたり、地域で健康を守る活動をしたりする
(病院での手伝いや話し相手、エイズなどの難病を克服するための活動など)
 - e 国際交流・協力、日本にいる外国人の世話をしたり、外国で援助活動をする
(留学生や外国人の相談相手、通訳、ホームステイ、災害地への物資援助などの救助活動、募金活動など)
 - f 自然や環境を守る
(道路・公園の掃除などの環境整備、野生生物・植物の保護、リサイクル活動など)
 - g いきいきとした地域を作る
(町内や団地の自治会の手伝い、消防・防犯・交通安全などの活動、村おこし・町おこしの活動など)
 - h 自分の知識をいかして、人々の学習を助ける
(博物館・美術館などでの作品説明、史跡など観光施設の説明など、子供の学習の面倒をみることなど)
 - i 国内の災害地での援助活動をする
(災害地への物資援助などの救助活動、募金活動など)
 - j その他の「ボランティア活動」

学内において、学生のボランティア活動支援について協議する委員会等を設置していますか。

- SQ12
- a 設置している
 - b 設置していない

SQ12で「設置している」と回答の場合、その委員会等はどのような機関として設置していますか。

- SQ13
- a 全学的な協議・決定機関
 - b 学長・副学長の諮問機関
 - c 事務職員の協議・決定機関
 - d その他

Q3

貴学において、学生のボランティア活動を支援する上で、今後、重要となると考えられるものはどのようなものですか。重要と思われる順に3つまでお答えください。

1. ボランティア・NPO関連科目を設けて正課の単位として認定する
2. 学校行事や正課外の活動として実施する(体験ボランティアやボランティアセミナーなど)
3. サービスラーニングなど教科学習と関連させた体験型の授業をすすめる
4. ボランティア活動を行う学生を積極的に評価する(表彰、奨学金の受給等の条件に入れるなど)
5. 学内にボランティアセンターなど学生からの相談や情報提供に関する部署を設ける
6. ボランティア活動に必要な資金や資材・機材等を整備する
7. ボランティア活動に必要な場所・拠点を整備する
8. ボランティア活動中に生じる事故の補償を整備する
9. 学外のボランティアセンターなどの推進団体と大学等との連携を深める
10. 大学等による地域社会への貢献活動を促進する
11. 大学等がNPOを設立し学生に参加させる
12. 大学等として学生ボランティア活動の支援に取り組む予定は今のところない
13. その他

Q4 今年度、貴学では、学生のボランティア活動推進のための予算措置を行っていますか。

1. 行っている
2. 行っていない



『1. 行っている』の場合、回答に従ってSQにもお答えください。

どのように行っていますか(複数回答可)。

- SQ1
- a 大学等独自の予算
 - b 文部科学省の競争的資金等
 - c 他省庁の競争的資金等
 - d 学内の基金
 - e 寄付金等
 - f 企業からの資金協力を受けている
 - g その他

SQ1で「文部科学省の競争的資金等」および「他省庁の競争的資金等」と回答の場合、その資金の省庁名・プログラム等名をご記入ください。(例:文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)」)

SQ2 (自由記述)

予算措置についての課題があればご記入ください。

SQ3 (自由記述)

Q5 ボランティア・NPOに関する部署の担当者が、課題や困難に感じていることは何ですか。重要と思われる順に3つまでお答えください。

1. 予算の確保
2. 学内の運営体制が不十分
3. 教職員の理解と関心が薄い
4. 学生の理解と関心が薄い
5. 拠点・スペースの確保
6. 地域の関係機関・団体との連携
7. 国など教育行政からの支援
8. スタッフの研修や情報交換の機会の充実
9. 他の業務が忙しく時間が充分とれない
10. ボランティア・NPO情報の選択や精選が難しい
11. 安全の確保や事故責任が心配だ
12. 専任のコーディネータの人材確保
13. ボランティア・NPOの活動実態が理解できなく不安だ
14. 企業からの社会貢献をとおした協力や連携
15. その他

2. ボランティア活動と教育

Q6 今年度の、ボランティアに関する授業科目又はボランティアを取り入れた授業科目をお答えください。また、ボランティア活動に関連した授業(例えば、NPO・NGO、まちづくり等の関連科目)があれば、それもあわせてご記入ください。

3. 学生のボランティア活動の分析と評価

Q7 貴学では、ボランティア活動を主たる目的とし、実際に活動しているクラブ、サークル数はどのくらいありますか。

1. 1~2団体
2. 3~5団体
3. 6~9団体
4. 10団体以上
5. 不明

Q8 貴学では、学生のボランティア活動を支援することで、どのような成果があると思いますか。下記の選択肢から、重要と思われる順に3つまでお答えください。

1. 学生の学ぶ姿勢や意欲の向上に役に立つ
2. 学生の対人コミュニケーション能力の向上に役に立つ
3. 学生の公共の精神やマナーの向上に役立つ
4. 学生の学力向上に役に立つ
5. 学生同士の人間関係づくりに役に立つ
6. 学生のキャリア教育に役に立つ
7. 学生の心のケアに効果的である
8. 学生の就職等の進路に有利になる
9. 学生の大学への愛着心の向上に役に立つ
10. 地域社会からの大学等への評価が高まる
11. 学生募集に効果的である
12. 行政からの補助金や企業等からの寄付金集めに有利になる
13. 地域社会とつながることで教育的資源を有効に活用することができる
14. 建学の精神の啓発に役に立つ
15. 大学等の社会貢献活動に寄与することができる
16. その他

4. コミュニティとの連携と協働

Q9 学生のボランティア活動支援に関して、貴学ではどのような機関・団体と連携していますか（複数回答可）。

1. ボランティア・NPOセンターや社会福祉協議会など、ボランティア活動を推進する中間支援機関
2. 地域のボランティアグループ・NPO等
3. 町内会・自治会等の地縁組織
4. 研究機関
5. 地域の行政機関（市区町村等）
6. 企業の社会貢献窓口
7. 幼稚園、小・中・高等学校
8. 保育園・児童館等
9. 社会福祉施設
10. 社会教育施設
11. 他大学等
12. 海外の教育機関
13. 海外のボランティアグループ・NPO等
14. その他

Q10 貴学では、学生のボランティア活動を推進するために、Q9で回答された機関・団体とどのような連携と協働を行っていますか。

回答に従ってSQ1にお答えください。

具体的に取り組んでいることについて、3つ程度お答えください。

SQ1 （自由記述）

これから力を入れていきたいことについて、お答えください。

SQ2 （自由記述）

5. その他

Q11 その他大学等の学生ボランティア活動支援につきまして、ご意見、ご要望、ご感想等ございましたらお答えください。

ご協力ありがとうございました。

平成20年度 大学等におけるボランティア活動の推進と環境に関する調査
回答票

学校名	
-----	--

* 英数字等は該当するものに○をつけてください

1. ボランティア活動の推進と環境

Q1	SQ1	d(その他)の具体的な内容	
	1. ある	a. b. c. d	
	2. ない		
	SQ1の部署		
	担当部署名称		
	電話番号	() -	FAX番号
電子メール			

Q2	SQ1	d(その他)の具体的な内容		
	1. ある	a. b. c. d		
	2. ない			
	SQ1の部署 (Q1と異なる場合)			
	担当部署名称			
	電話番号	() -	FAX番号	() -
	電子メール			
	SQ2	a. b.		
	SQ3	a. b.	SQ4 (複数可)	a. b. c. d. e.
	SQ5	a. b.		
	SQ6	a. b.	⇒ a.(いる)場合 ⇒	人
	SQ7	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	e(その他)の具体的な内容	
SQ8	a. b. c.	c(その他)の具体的な内容		

SQ9 (複数可)	a. b. c. d. e. f. g. h. i. j. k. l. m. n. o. p. q. r	r(その他)の具体的内容
SQ10 (複数可)	a. b. c. d. e. f. g. h. i.	i(その他)の具体的内容
SQ11		j(その他)の具体的内容
SQ12	a. b.	
SQ13	a. b. c. d.	d(その他)の具体的内容

Q3	1位	2位	3位	13(その他)の具体的内容

Q4	1. 行っている	SQ1 a. b. c. d. e. f. g.	g(その他)の具体的内容
	2. 行っていない		
	SQ2		
	SQ3		

Q5	1位	2位	3位	15(その他)の具体的内容

2. ボランティア活動と教育

Q6	回答票(別紙)をご覧ください。	(※ 該当する授業科目がある場合のみ。)
----	-----------------	----------------------

3. 学生のボランティア活動の分析と評価

Q7	1. 2. 3. 4. 5.	
----	------------------------	--

Q8	1位	2位	3位	16(その他)の具体的内容

4. コミュニティとの連携と協働

Q9	(複数可)	14(その他)の具体的内容
----	-------	---------------

Q10	SQ1	
	SQ2	

5. その他

Q11	
-----	--

ご記入者

ご記入者名			
部署・職名		電話番号	() -
電子メール		FAX番号	() -

平成20年度 大学等におけるボランティア活動の推進と環境に関する調査
回答票 (別紙)

Q6

今年度の、ボランティアに関する授業科目又はボランティアを取り入れた授業科目をお答えください。また、ボランティア活動に関連した授業(例えば、NPO・NGO、まちづくり等の関連科目)があれば、それもあわせてご記入ください。

授業科目名			
担当教員	1. 学内教員 2. 学外教員	担当教員の 専門分野	
開設学部及び年次	学部		年次対象
今年度履修者数	計 名 (男子学生 名 ・ 女子学生 名)		
単位数	単位	必修・選択の別	1. 必修 2. 選択必修 3. 選択
授業期間	1. 半期 2. 集中授業 3. 通年 4. その他()		
共通・専門等の別	1. 共通 2. 専門 3. その他()		
授業のレベル	1. 初級・入門 2. 中級・応用 3. 上級 4. その他()		
授業区分	1. 講義 2. 演習 3. 実習		
ボランティア 体験の時間数	()時間		
授業目的			
授業内容 (シラバス添付可能)			
	教科書		
授業工夫点 (例: サービスラーニング等)			
授業の評価方法			
授業のサポート体制	1. ある(具体的に) 2. ない		
学外の関係機関 ・団体との連携	1. ある(具体的に) 2. ない		
今後の授業の継続	1. 今後も継続 2. 今年度のみ 3. 未定 4. その他()		

※ この設問に限り、回答方法が異なります(指定の回答様式(Excelファイル)を利用した回答となります)。詳細は、通知文書別紙をご覧ください。